

## 2021 年度社会医学実習テーマ

### 1. 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防施策と感染指標との関係

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防施策として、ステイホーム、学校閉鎖、イベント制限、移動制限などの施策がとられてきた。こうした施策と感染指標の変化との関係を検証する。

### 2. 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防施策と経済指標との関係

新型コロナウイルス感染症への対応としては、感染予防と経済活動の両立が求められる。感染予防施策と国内総生産（GDP）などの経済指標の変化との関係を検証する。

### 3. コロナ禍における自殺率の関連要因

自殺対策基本法に基づき成果をあげてきた自殺対策は、2020 年新型コロナの影響を受け、自殺率の増加に転じる結果となった。一人の自殺にはその背景に平均 4 つもの原因が複雑に絡んでいるとされているが、今回コロナ禍における自殺はどのようなストレスの影響を受けたのかについて、既存のデータを用い検証する。

### 4. HIV 感染者を取り巻く現状課題

HIV に関して、感染者は経年的に減っているものの、発症を機に感染が発覚する例は 3 割をしめ、いきなり AIDS という課題が存在する。こうした背景には感染へのスティグマや偏見が大きな原因であることが予想され、社会医学的課題でもある。これらを踏まえ今回、HIV 感染者を取り巻く現状を調査し、現状の課題と今後の対策について検討する。

### 5. R studio を使った医学統計の基礎

社会全体でデータ分析の重要性が増大しており、医療においてもその重要度は高い。実習では R studio を用い、病院統計や NBD データなどのオープンデータを分析し、図表化し、発表できることを目的とする。R 初心者を対象としている。

（研究室に PC は 5 台あるが、感染対策のため各個人の PC へのインストールが望ましい）

参考文献：R studio ではじめる医療統計 金芳堂 ¥3,200

R をはじめよう 生命科学のための Rstudio 入門 羊土社 ¥3,960

## 6. コロナ禍での医学生の生活、ストレスに関するアンケート調査と分析

コロナ禍により、小中学生において肥満や視力低下、生活習慣の乱れ、ストレスの増加が報告されている。同様にコロナ禍は医学生にも影響をもたらしていると考えられる。この実習では google form など（未定）を利用して生活習慣やストレスに関するアンケートを作成し、4 M 医学生を対象に匿名での回答を依頼し、分析を行う。

参考文献：授業評価・市場調査のための「アンケート」調査・分析ができる本 秀和システム  
岩佐英彦 ¥1,980（Kindle 版もあり）

## 7. 働き方改革と今後の産業保健

最近の労働衛生の動向、特に働き方改革を中心として、今後の産業保健のあり方を考える。

## 8. 小児環境保健の世界の取組み

子どもの成長や発達に影響を及ぼす環境要因を明らかにする目的で、世界では多くのコホート調査が行われている。小児環境保健の世界の取組みについて概観する。

## 9. 骨粗鬆症の予防知識を評価する質問票開発

骨粗鬆症は高齢期に頻発するが、青少年期からの適切な知識を持って予防に取り組むことが必要である。しかし若年層が骨粗鬆症という病態や予防に関する知識を有しているか不明である。そこで、骨粗鬆症の病態や予防に関する知識を評価する質問票を開発し、アンケート調査を行って質問票の妥当性を検証する。

## 10. 小児期から青年期までに起こる骨折の骨折後の機能評価

10 歳から 14 歳ころは、高齢期に次いで骨折が頻発する時期である。一般に小児期の骨折の予後は良好とされるが、骨折後の機能評価に関する疫学情報が不足している。本グループでは、新 1 年生を対象としたアンケート調査を実施し、小児期から青年期までに起こる骨折後の機能評価を実施する。